

第3学年通信

令和5年5月10日

第1号

文責 増子 高宏



進級して1ヵ月、充実した日々を過ごしています！



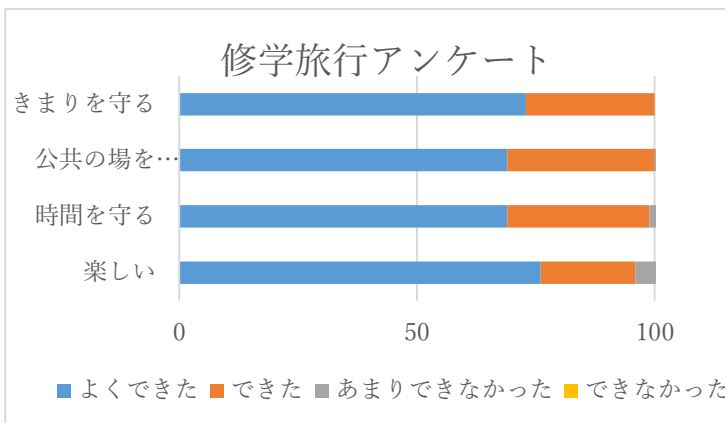
1年生の給食配膳手伝い
学年レクで長縄跳び
避難訓練
任命式
交通安全教室



この1ヵ月間で修学旅行も含め様々な行事があり、とても忙しい日々を過ごしてきました。少しずつ、最高学年としての自覚も見え始めています。

修学旅行の反省とまとめ

最高の天気にも恵まれた3日間の修学旅行でした。3日間の行程での思い出やSDGsの学習内容などを新聞にまとめ発表しました。また、行動面の反省や感想などタブレットを使用してアンケートを実施しました。



アンケートの結果

よくできた、できたが全項目95%以上でした。

とても充実した修学旅行が送れたと感じている生徒がほとんどでした。

SDGs学習についての反省なども一生懸命書いている生徒が多かったです。

今後の予定

5月15日(月) 生徒会総会

5月17日(水)～18日(木) 県中地区中体連陸上大会 弁当持参

5月20日(土) 1, 2年PTA奉仕作業

6月2日(金) 市中体連壮行会・アルバム写真撮影(部活動)

6月6日(火)～8日(木) 市中体連総合大会

6月14日(水) 定期テストI

6月15日(木) 県中地区中体連水泳大会

修学旅行3日目の SMALLWORLDS 東京での SDGs 学習の生徒感想より

- SDGs のゴールはずっと先ではなく、今からやらずにやらないことなんだということが分かりました。
- SDGs の難しさや身近なことも SDGs になること。
- この世の中にはいろんな障がいの人のために作られているんだと学べた
- 世界にはたくさんの方が色々な思いで暮らしていて、その環境を守るためには、私達人間が地球を守る必要があるということ。地球を壊すようなことはしてはいけないと綺麗な小さな世界をみて改めて思いました。
- SDGs の目標の達成のために自分にも何が出来るかや世界中の人がより良い生活をするために行なっていることなどを知ることができました。
- 今の時代において世界の状況を確認し製作すること。
- まだ他の地域ではあまり行われていない、イスラム教徒の人のための礼拝室や 人工肛門の人のためのトイレなど多様な人のための取り組みが行われていて このような取り組みを地道ながらも生活に取り入れていけば SDGs の達成につながると思った
- SDGs の前にもいろんな事に取り組まれていたけど、世界の状況にあわせて工夫されていることがわかりました
- ロケットや世界の街並みなどのミニチュアをみて、レーザー抑制システムや再生可能システムなど、たくさん SDGs に則ったものがありました。
- SDGs は私たちにもできて、はやくやらないといけないのだとわかりました。
- 世界のさまざまな人のために作られていて驚いた。特にイスラム教の人のために作られた部屋が1番驚いた。
- SDGs について、現在の取り組みや達成度について知ることができました。目標の年である2030年までに、果たしてSDGsは達成出来るのだろうかと考えました。
- SDGs の大変さと、それに向けての取り組みがわかり、自分も努力しようと思った。
- SDGs の前に MDGs というのがあり、その MDGs は世界の課題に沿っていないため、今の SDGs というのが作られたという話を聞き、世界のミニチュアなども見てすごい細かくできていて、その中に入って中からみれるところもありすごかった。
- 見たことないユニバーサルデザインのマークがあって、SDGs について深く知ることができました。
- ピクトグラムは日本語が読めない外国人だけでなく、私たちが見ても何があるかわかるようになっていた。
- これからはもっとより良いものを想像して、それを創造することが最も大切なことだと感じました
- SDGs についてアニメなどで例えられていて簡単に考えることが出来ました。
- 時代と共に世の中の技術がとて変わっていくということがわかりました。例えば、運搬業は人の手で運ぶのが一般的だったがこれからはドローンなどが使われていくということがよくわかりました。
- 世界中の多様な人たちが、みんなで長く暮らしていけるような地球になったらいいなと考えた。